

第128回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和元年7月18日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第128回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 令和元年7月18日（木）11時00分
場 所 沖縄総合事務局 5F 聴聞室兼会議室

出席者：

公益委員 宮里委員、豊川委員、大城委員
労働者委員 柴田委員、屋比久委員
使用者委員 宮城委員、桃原委員

沖縄総合事務局 屋良課長、宮良調整官
新城補佐、仲里係長

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第127回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況について
3. 意見交換

○閉 会

(配付資料)

1. 第127回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（令和元年6月分）

宮里部会長

定刻でございますので、第128回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（仲里係長）

本日の出席状況ですが、公益委員3名、労働者委員2名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定により定足数を満たし、有効に成立していることを御報告いたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

宮里部会長

それでは、初めに第127回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録を御確認ください。

原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「異議なしの声」）

宮里部会長

では異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議事2の「管内の雇用状況」につきまして、事務局に説明をお願いします。

質問は、最後に受け付けたいと思います。

事務局（新城補佐）

令和元年6月分の管内雇用状況等の概要について御報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は8件でした。前月に比べ4件減少、また、前年同月に比べ2件減少となっております。

月間有効求人数は20件でした。前月に比べ5件増加、また前年同月に比べ9件増加となっております。

月間有効求人数20件の内訳は、商船等19件、漁船1件となっております。

月末未済求人数は8件でした。

●求職状況について

新規求職数は5名でした。前月に比べ2名減少、また、前年同月に比べ2名減少となっております。

新規求職数5名の内訳は、商船等5名となっております。

月間有効求職数は15名でした。前月に比べ5名減少、また、前年同月に比べ1名減少となっております。

月間有効求職数15名の内訳は、商船等13名、漁船2名となっております。

月末未済求職数は8名でした。

●成立状況について

6月は0件でした。

●求人倍率について

6月の月間有効求人倍率は、1.33倍でした。前月に比べ0.58ポイント増加、また、前年同月に比べ0.64ポイント増加となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

6月の新規求職者5名のうち離職者2名の退職理由は船舶所有者都合等1名、その他1名、離職以外の方3名の求職理由は、就業中に転職を希望するもの2名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が1名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は2名、支給延べ件数は3件で、
基本手当支給金額は530, 117円でした。

その他再就職手当の支給があり、
再就職手当の支給額は348, 270円でした。
総支給額は878, 387円でした。

以上、管内雇用状況等の概要説明を終わります。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について何か御質問ございますでしょうか。

特にないようでしたら議事3の意見交換に移りたいと思いますが何かございますでしょうか。

事務局（仲里係長）

私からよろしいですか。

参考資料として「体験学習」の案内文書を用意させていただきました。これは若年内航船員確保推進事業の取組の一環で、船員課程を有する沖縄水産高等学校を紹介し、内航船員の仕事に关心を持たせ、船員を志望するきっかけをつくることを目的として8月6日（火）に開催する予定となっております。

また、資料の用意はございませんが、夏休み期間中に沖縄水産高等学校、宮古総合実業高等学校、八重山商工高等学校、八重山農林高等学校の高校生を対象にインターンシップを予定しております。4高の生徒をあわせて60人ぐらいの参加が見込まれております。

以上です。

宮里部会長

ありがとうございます。

前にもお聞きしたと思うのですが、「体験学習」は県内各地の中学校などに案内文書を送付しているのですか。

事務局（仲里係長）

宮古・八重山地区を除いて沖縄本島及び沖縄本島周辺離島の各中学校、沖縄県教育庁義務教育課、教育事務所及び市町村教育委員会あて案内文書を送付しております。

明日が申込み期限となっており、現在取りまとめの最中となっております。

宮里部会長

学校単位での申込みになるのか、それとも個人での申込みになりますか。

事務局（仲里係長）

学校での周知方法や取りまとめの方法によると思うのですが、学校によっては進路指導室の掲示板に掲載し周知する、案内文書を生徒個別に配布する学校もあると聞いております。

申込みの方法についても、学校で取りまとめる場合や保護者が直接申し込むなどさまざまです。

実習船が大きな船舶ではないため、30名程度の人数での実施を予定しております。

豊川委員

質問よろしいですか。「体験学習」は毎年何名ぐらいの生徒が参加していますか。

事務局（仲里係長）

昨年度の実績ですと30名程度の応募がありました。台風の影響による離島フェリーの欠航や体調不良などによる欠席もありましたが、生徒、保護者などを併せて20数名の参加となりました。

豊川委員

もうひとつ質問よろしいですか。宮古総合実業高校と八重山地区の高校生を対象に実施するインターンシップの方法を説明願います。

事務局（仲里係長）

まず沖縄水産高等学校と宮古総合実業高等学校について説明します。実施方法についてですが、就業体験の内容や心構えを学習させるための事前学習会、実際に乗船して学ぶ就業体験、就業体験の学習成果を発表する事後報告会の3本立ての構成で実施しております。

八重山地区の高校生に対しては、船舶事業者の要望があり就業体験を実施しているところです。

八重山地区の高校の生徒は、船に関する知識が少ないとから体験乗船のような形になるかと思いますが、将来船員教育機関へ志望させる取組として実施しているところです。

これまでに就業体験に参加した生徒が地元八重山の船会社に就職した実績もあります。

豊川委員

わかりました。ありがとうございます。

事務局（仲里係長）

補足ですが、八重山地区には水産高校がないため、おのずと参加人数が少なくなりますが、八重山農林高校と八重山商工高校合わせて4名の生徒が参加します。

この就業体験を通して内航船員に興味を持っていただき、沖縄水産高等学校の専攻科や海上技術短期大学校を目指して欲しいという思いから実施している事業になります。

宮里部会長

ほかにないようでしたら、事務局から連絡がありますのでお願いします。

事務局（仲里係長）

8月の船員部会についてですが、当初の予定である8月15日（木）が旧暦のお盆と重なるため、開催日を1週間程度ずらして開催したいと考えております。

日程調整について後日メールにて照会をしますのでご了承願います。

また、今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、御確認よろしくお願ひします。

以上です。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。

それでは、本日の部会はこれで終了したいと思います。

皆さん、御苦労様でした。